

平成20年度消費者物価指数の動向

1 概況

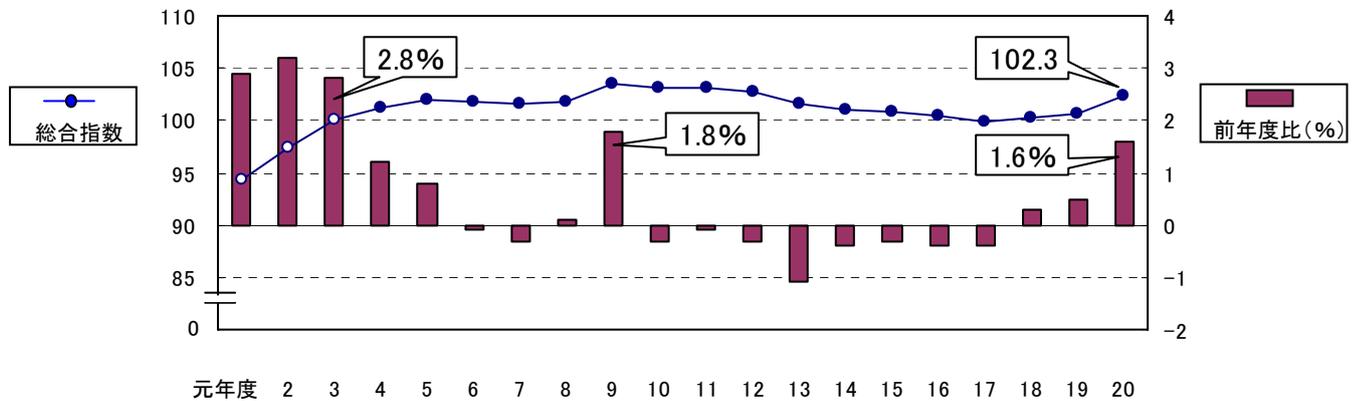
～総合指数の前年度比は17年ぶりの高い上昇率～

- 広島市の平成20年度平均総合指数（102.3）は、平成18年度以降3年連続して前年度の水準を上回った。
- 総合指数における前年度比の伸び率（1.6%）は、消費税率変更のあった平成9年度を除くと、平成3年度以来17年ぶりの高い上昇となった。

総合指数年度平均の推移

(H17=100)

年度	元年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10
指数	94.4	97.3	100	101.2	101.9	101.8	101.6	101.7	103.5	103.2
前年度比(%)	2.9	3.2	2.8	1.2	0.8	▲ 0.1	▲ 0.3	0.1	1.8	▲ 0.3
年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
指数	103.1	102.7	101.5	101.1	100.8	100.4	99.9	100.2	100.7	102.3
前年度比(%)	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.4	0.3	0.5	1.6



2 費目別指数の動き

～食料など5費目が上昇し、家具・家事用品など5費目が下落～

- 原材料高に伴う小麦の価格上昇や公共料金の値上げ等により、生活に密着した光熱・水道、食料の上昇が目立った。
- 一方、パソコン等の教養娯楽用耐久財や電気冷蔵庫等の家庭用耐久財は下落に寄与した。
- また、ガソリンの4月の暫定税率失効と年明け以降の急激な下落を受けて、交通・通信が年度平均でみると、前年度を下回る水準となった。

上昇に寄与した 主な項目	食料	食パンなどの穀類や、うなぎ蒲焼き等の調理食品等
	光熱・水道	都市ガスやプロパンガス等のガス代や電気代等
	教育	私立幼稚園保育料や専門学校授業料等の授業料等
下落に寄与した 主な項目	教養娯楽	パソコン（ノート型）等の教養娯楽用耐久財等
	家具・家事用品	電気冷蔵庫や電気炊飯器等の家庭用耐久財等
	交通・通信	自動車保険料（自賠責）やガソリン等の自動車等関係費等

10大費目別指数及び前年度比

(H17=100)

費目	食料		住居	光熱水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品										
指数	104.6	100.0	100.6	111.8	92.2	104.9	99.0	101.2	105.2	97.0	102.5
前年度比(%)	3.7	0.6	0.3	6.7	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 0.1	3.7	▲ 0.7	1.0
寄与の大きな 主な中分類	穀類	-	家賃	ガス代	家庭用耐久財	シャツ・セーター類	保健医療用品・器具	自動車等関係費	授業料等	教養娯楽用耐久財	身の回り用品
前年度比(%)	9.1	-	0.4	11.0	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 3.2	▲ 0.8	3.4	▲ 22.3	4.9